



# いおぎ だより

杉並区立井荻小学校

平成25年10月31日発行

No.544

## 本との出会い

校長 梅津 典子

10月25日(金)に本校で童話作家の高樓方子(たかどの・ほうこ)さんの講演会が行われました。これは、「こどもの本のつどい in いおぎ」の主催で開かれたものです。高樓さんは、「つつつくせんせいシリーズ」や「まあちゃんのながいかみ」などの子ども向けの絵本から、「十一月の扉」「緑の模様画」などの大人へ一歩踏み出した年頃の子どものに向けた読み物まで、数多くの作品を発表されています。

講演会では、子どもの頃の家庭での様子や本との出会いなどについて話していただきました。中でも、小学校6年生の時に読んだ「名探偵カッレくん」に大きな影響を受けたそうです。本の中でならいろいろなことができる、空想の世界に遊べるということが分かり、文章を書く仕事、作家になりたいと思ったそうです。

読書好きの人にきいてみると、最初に出会った本がその後の読書人生にとっても影響を与えているようです。まず、本を読んで、「おもしろいな!」と感じなければ次の本を読む気になりません。幼少期にそんな本と出会うことの大切さを痛感します。

学校でも、子どもたちが図書館でよく本を読む姿を見かけます。しかし、学年が上がるにつれて、読書数が減る傾向にあります。それは、本当に興味・関心をかきたてる本に出会っていないからだと思われます。自分にとって大事な本に出会い、「本好きな子ども」になってもらうためには環境づくりが大切です。

環境づくりの第一は、本が周りにある環境をすることです。しかし、与えすぎはよくありません。少しずつ小出しにしながら、発達段階に応じて子どもが興味・関心を示す本を準備することです。それも、

いつでも手にとって読めるところに数冊の本を置いておくことです。それを読んでしまったら、次の本を出しておくという工夫が必要です。

第二に、親が本を読む姿を子どもに見せることです。たまには、テレビを消し子どもと一緒に本を読み、その姿を見せることをお勧めします。

「本を読む」という間接体験を通して、それぞれの作品の主人公や登場人物に共感したり、悲しんだり、反発したりします。心を揺さぶってくれる本にたくさん出会うことで、「感性の目」が大きく育ちます。感性が豊かな人は相手の心を理解でき、温かく包みこむことができると言われていています。相手の悲しみや苦しみが理解できれば、暴言を吐いたり、いじめたりすることはなくなると思います。

本との出会いを通して豊かな心を育ててほしいと願っています。



# もうすぐ展覧会

図工専科 廣瀬 祐美



11月15日（金）・16日（土）に展覧会を開催します。今回のテーマは、“はばたけ、いおぎっこ！”です。全校児童の図工と家庭科の作品が一つの会場に集められ、子どもたちの魅力あふれる世界が広がっています。

この展覧会では、自分らしい表現をすることを大切にしています。作品のテーマや材料にはある程度限りを設けていますが、できるだけ自分で思いついた

たことを自由に表現していく姿勢を尊重しました。個性豊かな作品を通して、子どもたちが作品に込めた思いをくみ取り、語らう機会としていただければ幸いです。

また、各学年の展示に加えて全校で取り組んだ装飾、展覧会に向けて制作している様子を追った写真も展示します。ご来場いただいた皆様に子どもたちに向けてメッセージを書くコーナーもありますので、温かいお言葉をお願いいたします。

# 井荻小の食育

食育担当 長田 昌子

「食べることは楽しい」と思って食事ができる子どもたちがたくさんいるといいなと、日々考えています。こんな料理が食べてみたい、食べ物って面白い、食べ物にもこんな歴史があるのか、自分が食べるまでにはこんな人たちの手を通してきていたのか、からだの中ではどんなことが起きているの？などなど、食べ物を通してたくさんを知ることができます。

給食では、毎日「きょうのきゅうしょく」のおたよりを通して、いろいろな情報を届けています。最近「和食・日本人の伝統的な食文化」がユネスコの世界無形文化遺産に登録か、というニュースが発表されました。

「和食」とは何か、ということもどんどん子どもたちに知らせていきたいと思えます。10月28日からの1週間はブックランチということで、絵本の中の料理と題して給食に取り入れました。絵本を通して、食べることにもっと興味をもってもらえるのではないかと期待しています。今後も子どもたちが「食べることは楽しい」と思えるような取り組みを進めていきます。

# 読書旬間



学校図書館部・栗原 慎太郎

本校では、各学期に読書旬間を設けています。今年度は1学期：6月3日（月）から15日（土）、2学期：10月28日（月）から11月8日（金）、3学期：2月3日（月）から16日（土）です。主な活動は次の通りです。

## ① 図書委員会の子どもたちによる読み聞かせ

1学期は、図書ボランティアの方々が行っている「読み聞かせ」と同じやり方で、「図書委員会の子どもたちのお薦めの本」の読み聞かせを各クラスに分かれて行いました。6月12日（水）の8：30～8：45の15分間です。図書委員会では、音読練習や友達同士での読み聞かせをして練習を重ねました。

人前で音読する機会が少ないことに不安を感じていた子もいましたが、最後まで自分のお薦めの本を読み通し、自信をつけました。今後の学校生活に役立ててほしいと思います。

2学期は、10月28日（月）から11月1日（金）の給食時にブック・ランチと称して、絵本に出てくるおいしいものを献立にして出しています。図書委員はお昼の放送で、その絵本の読み聞かせを行っています。

## ② お薦めの本の紹介

昇降口正面の掲示板に、1学期は先生のお薦めの本の紹介をしました。その本を手にとって読んだり、図書室に借りに行ったりしている子が多く、うれしく思います。3学期は図書委員がおすすめの本を紹介します。

## ③ 図書新聞

今年度から毎月1回、図書委員会で新聞を発行しています。前期の図書委員の発案です。新聞名は、「BOOK♥ライブラリー」です。そこには「児童会室に設置したミニ図書コーナーを、もっと活用してほしい」こと、「1学期の図書委員による読み聞かせで、各クラスで読む本の題名とその感想」「新しく入った本の紹介」などが書かれています。昇降口正面、ミニ図書コーナー脇、図書室入口前にはるだけでなく、各クラスにも届けています。

## ④ 25日（金）の図書集会では、休み時間や放課後に練習した成果を見せて、クイズ形式による集会を体育館で実施しました。

このような活動が円滑に行われているのも、図書ボランティアの方々の方が大きいと思います。いつも図書室の本棚の整理整頓が行き届き、本の貸出冊数が毎年増え続けています。これからもたくさん本を読んでほしいと思います。

# 11月行事予定

1	金	
2	土	土曜クラブ（囲碁）サイエンスキッズ
3	日	文化の日 東京都教育の日
4	月	振替休日
5	火	
6	水	
7	木	就学時健診 4時間授業
8	金	桃三小研究発表のため、4時間授業 読書旬間終
9	土	漢字検定・土曜クラブ (囲碁、マナーキッズ)
10	日	
11	月	委員会活動 安全指導
12	火	
13	水	避難訓練 4時間授業
14	木	展覧会前日準備（全学年 5時間授業）
15	金	展覧会
16	土	展覧会（4時間授業）
17	日	
18	月	展覧会振替休業日
19	火	展覧会后片付け（5年：1校時）
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	勤労感謝の日
24	日	
25	月	クラブ活動 教育実習始（栄養教諭）
26	火	社会科見学（4年） クリーン運動（6年・荻中と合同実施）
27	水	区連合音楽会（5年）
28	木	
29	金	教育実習終（栄養教諭） 荻中生による 読み聞かせ（予定時間：13:05～13:25）
30	土	土曜クラブ（お箏・いけばな）
1	日	震災救援所訓練（10時～12時）

## 11月の生活目標 「言葉を大切にしよう」

生活指導部 澁谷 あゆみ

6年生のある児童が、「平和」について考える作文の中でこんなことを書いていました。

「平和への第一歩は、言葉だと思います。最近の若い世代の言葉遣いは、悪意はないのに、相手が傷つく言葉を平気で使っています。」

この文章をクラスに紹介した時、多くの子どもたちが、初めはぼかんとしていました。

「特に言われて嫌な言葉は何?」と聞くと「〇〇」「〇〇〇」だと全員が口々に言いました。言われるのは嫌だけれど、自分も言ってしまうという子もいました。「この言葉の本当の意味は?」と問うと、自分たちはそこまでの悪意はないのに使っているということに、やっとなと気づき始めました。

そして、この文章を書いた子に対して「こんなに冷静に自分のことを分析して書けるところがすごい」と賞賛する声も出てきました。見えなかったものが、見えてくる瞬間でした。

子どもたちは、あふれる情報の中で、いろいろなことを知っているつもりになっています。しかし、確かな自分のものにはなっていません。知っているつもりなのが、身近な自分の体験と合致した時、心に刻まれていきます。

私たち大人は、この作業をあきらめずにやり続けていく使命があります。

次世代を担う大事な子どもたちに、言葉遣いの大切さをあきらめずに説き続けていきましょう。

## ペットボトルキャップ回収のご協力、ありがとうございました。

南門で集めているペットボトルのキャップがたくさん集まったので、エコキャップ推進協会に引き取りに来てもらいました。今回は約26万個集まりました。重さにすると約600kgになります。

800個で1人分のポリオワクチンに交換することができます。今年もたくさんの子どもたちを助けることができました。ご協力ありがとうございました。